名鉄 ふれ愛新聞

～すべての人にやさしいユニバーサルステーションII～

2010.8.28 発行
石原 蔵人

駅前インタビュー

名鉄が高齢者の方にとって優しい駅なのかを調べるために、名鉄名古屋駅の改札口で十名の方にインタビューをしました。すると、こんな答えが返ってきました。

①特急や普通電車の乗り換えがとても便利。
②車掌さんや駅員さんがとても親切。
③JRの方が駅が少ないため、目的地に着くのが早いが、名鉄の方が席に座りやすいので利用しやすい。
④運賃がやや高い。
⑤冷暖房がよくきいている。
⑥家から駅が近いので便利。
⑦駅を降りるとデパートがあり、買い物がとても便利。
⑧なれているところはいいけれど、初めて行くようなところはどのような切符を買ったらいいか分からない。

「便利です」という声が多かったのですが、本当に便利かどうかを体験してみることにしました。

高齢者体験セット

市の福祉センターでお借りしました。

無人駅 鵜沼宿から大都会 名鉄名古屋まで

- イヤーディフェンダー：高齢者の聴覚の体験
- 視覚障害体験ゴーグル：高齢者の視覚の体験
- ひじ用サポーター：高齢者のひじ関節の動きにくさの体験
- 手首用おもり：高齢者のうでの動きにくさの体験
- ゴム手袋：高齢者の手指の感覚の体験
- ひざ用サポーター：高齢者のひざ関節の動きにくさの体験
- 足首用おもり：高齢者の足の動きにくさの体験

切符の買い方が分からない場合には、窓口で切符が買えます。駅員さんも優しく応対してくれるのでいいです。

階段のはばが広く、段差もゆるやかなので、多くの人が利用できるようになっています。

多くの列車で優先席を色わけしています。また、その他の列車ではマークで分けていて、場所がどの列車でもすぐ分かります。

光で明るい字になっているのですべての人にやさしい表示になっています。

2段の手すりになっていて、背の高さ関係なく持てます。さらに、電車内にも手すりがあります。

電車を降りてすぐにエレベーターがあるので便利です。また、だれでも押しやすいボタンになっています。

名鉄名古屋駅には、「ゆずり愛席」というコーナーがあります。高齢者にとてもやさしいサービスです。

発見したよ やさしい工夫

鉄道は、さまざまな人が利用します。子どもも、お年寄りも、体の不自由な方も。最近のニュースでは、世の中が高齢化しているという言葉をよく目にしたり耳にしたりします。昨年は、「体の不自由な人」の身になって考えることがテーマでしたが、今年は、高齢者のための優しい鉄道を考えるために、高齢者体験やインタビューを行うことにしました。

あとがき

ぼくが今回の体験で一番苦労したのは、切符を買うことでした。字が見えにくかったり、ボタンが押しづらかったりしたからです。「教えてほしい」「助けてほしい」という気持ちでいっぱいになりました。祖母も、「どこをどう押したらいいの。」などと、切符を買うのが大変だと言っていたことを思い出しました。

ぼくが困っているときに、「どうしましたか。」と駅員さんが声をかけて下さり、とてもほっとしました。と同時に、人とのふれあいの大切さを考えました。

機械の発達により世の中はどんどん便利になってきましたが、人と人とのふれあいは、忘れてはならない大切なものであると感じました。

だから、これからも、「人とのふれ愛を大切にした鉄道を目指してほしい」と願うとともに、ぼくもたくさんの「ふれ愛」を大切にしていきたいです。

体験を終えて 期待します!! これからの鉄道

①バリアフリー化工事の進行
駅にエレベーターや手すり、トイレなどバリアフリー化工事が進んでいると思います。近くの犬山駅でももうすぐエレベーターがつきます。たくさんの駅でバリアフリー化を進めてほしいです。

②モニター付券売機
今回の体験で、自動券売機でも切符を買うことが結構大変でした。また、どのような切符を買っていいか分からない方もみえるようです。無人駅と大きな駅がコンピュータでつながっていて、券売機に駅員さんが映り、お話しながらも切符が買えたらよいと思います。

③タクシー割引
電車は便利だけど、家から駅までが不便ということがあります。名鉄を利用した人にはタクシー割引があると便利かと思います。

④高齢者割引
ある年齢以上になったら運賃が安くなるサービスがあると利用が増えると思います。